

エンターテイナー“ちゃんサネ”さんと一緒に、
枕崎のことをいっぱい知って枕崎愛を育て、
あなたが案内する観光のおもてなしにも役立てましょう。



もっと 知ろうよ 枕崎

第6回

枕崎は熱い視線を受ける

枕崎を訪れたお客さんに「まくらざき」の名の由来をお聞かせし、火之神の見物をして街中の美術作品を紹介し、枕崎の方言の豊かさについてもお話しして、新たに誕生した「枕崎鰹大トロ丼」を始めとする鰹を使った料理の話などを車中でしながらなんてどうかと、このシリーズで語ってきました。なんとその枕崎鰹大トロ丼が、2014年度鹿児島県商店街グルメナンバール決定戦で、先日優勝しましたなあ。

■「食」で町おこし

鹿児島県商店街グルメナンバール決定戦(Show-1)グルメグランプリは、鹿児島市宇宿商店街の再生活動から生まれた。近隣の大型量販店が立ち並び、通りの小売店が経営難となりシャッターを閉じてゆく。どこにでもみられる時代の流れの中で、その「共存」という考え方を据えたのは、こよなくその通りを愛し、商店街が愛おしくてならない心、昔賑わった頃の思い出へのこだわりである。その旗頭が、宇宿のコスモタウンを経営する河井達志さんである。河井さんは、商工会議所や青年会議所、ライオンズクラブ、ロータリークラブ等という全国組織から得られる奉仕と商いの「つながり」という発想からこのグランプリを始めた。商店街も個々ではなく連れ立ってイベントを続けてこそ存続できるのだという事ご

あす。ここが大事。
その熱意に感染して枕崎は「通り会連合会」、「料飲店有志」がハメケケた。通り会であろうが公民館や町内会であろうが組織形体の種類や権限などは根本的な要因ではなからう。要するに街興しは、「ひとづくり」と認め合う気持ち、「そして「あそび心」に尽きる。「ケチ」ばつかい言って人は動かないし元気も出ません。楽しそうであるところに人は集まる。そひこんじつ。

■市民の協力・強力な愛情

2月15日に「観光フォーラム in 枕崎」市民の協力・強力な愛情」が催され、観光協会の若い3人が中心となつて二所懸命に準備し、やり終えた。フォーラムでは、鹿児島の街歩きの人であるNPO法人がごしま探検の会の東川隆太郎さんが、終始笑いに富んだ講演をした。中でも「おもしろい」ということに力点を置かれたのが印象的だった。続いて、穎娃おこそ会の加藤潤さんが、できることを着々と手がけ、作り、市に働きかけ資金を導き協働してきたという報告を、坊津やまびこ会の鮫島昭一さんは、坊という歴史遺産に恵まれた街を訪れた方々をどのように案内し、体験してもらおうかという発想と工夫について語った。きばらん海実行委員会の松野下兼市さんは、「港まつり」から「さつま

黒潮きばらん海枕崎港まつり」に成長したのは先輩たちの「一滴の汗」がにじんだ後ろ姿に習ったことの結果であり、告知とメディアの重要性や九州唯一の三尺玉大花火は市民が一丸になった募金の「花」だから意義があり、面白いのだということ話した。中原晋司さんは、商品開発に携わる中で、自分自身がいつのまにか「出汁男」になっていくことへの「気づき」を述べた。花渡川クラブの田中勝代さんは、かつて企業に勤めていたときに「人を動かす」べき立場にありながら、どうしても自分が細々と動かなければ気がすまなかった。その性分こそが、今観光案内において活かされている核心であると語った。

枕崎やその周辺には地元への強力な愛情を持った人たちがいることを改めて感じた。そういう人たちが出て、さらにはShow-1グルメグランプリ優勝の効果で枕崎にはますます視線が集まるだろう。そんな中で、あなたが知っている「枕崎」の話は、こいからどんなふうにお客さんへ語って聞かされるつとごわんそかい。そいが楽しんでごわん。

226 海岸線な 防災線
(唱)行きたいが おもしろそ



しょうがの 炊き込みごはん

しょうががさえあれば誰でもできる簡単な料理です。かつお節とあさつきを「豪快」に混ぜて、食べてみてください。

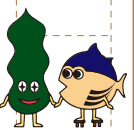
田中 美恵子さん(立神本町)

●材料

米……………2合
水……………適量
しょうが……………30g
だし昆布……………10羽角
みりん……………大さじ2
薄口しょうゆ……………大さじ2
かつお節(パック)……………適量
あさつき(または青じそ)……………適量

●作り方

①しょうがはみじん切り、あさつきは小口切りにする。
②米、水、しょうが、だし昆布、みりん、薄口しょうゆを入れ、炊飯器で炊く。
③炊き上がったら、かつお節、あさつきを混ぜ合わせて出来上がり。
※かつお節は、あらかじめ濃口しょうゆと混ぜた「おなか」にして、混ぜ合わせてもおいしく出来ます。



稚内便り

枕崎市の皆さん、こんにちは。
3月に入り、稚内もようやく暖かくなってきてはいますが、早く雪が解け、春が来るのを市民は今か今かと待ち望んでいます。
今月は、今が旬の3大ガニについてご紹介いたします。

◆今が旬！3大ガニを食べよう！

2月から春先にかけては、タラバガニ、ズワイガニ、毛ガニの漁が盛んです。
この時期水揚げされたカニは、身が引き締まってとても美味しいです。
冬のイベントなどを体験し、



▲身が引き締まった3大ガニ

合わせてカニを食べるのも楽しいと思いますので、ぜひ「稚内に来て」3大ガニを食してみませんか？

1年間「稚内便り」を掲載させていただきます。ありがとうございます。

枕崎市の皆さんに少しでも稚内のことを知ってもらえて、行ってみたいなあと思っていただけなのなら嬉しいですね。
今後とも「夫婦都市」としていい交流ができればいいですね。



▲楽しい雪像もいっぱい「氷雪の広場」(2月上旬開催)

■問合せ先 稚内市秘書広報課
課広報グループ
TEL 0162-236387